

令和 7 年度 第 2 回 徳島県立池田高等学校

学校運営協議会 議事録

1. 開催概要

- 日時: 令和 8 年 1 月 26 日 (月) 14:30～16:30
- 場所: 徳島県立池田高等学校 大会議室
- 出席者:
 - 委員: 伊丹賢治 (会長)、原史麿 (校長)、岡本博一、石川浩、田中剛、中川勝弘、井上琢斗、村上敬一、長瀬大 (敬称略)
 - 事務局・校内関係者: 福田教頭、吉田教頭、西條教頭 (定時制)、志摩副校長 (辻校)、西條教頭 (三好校)
 - 特別ゲスト: 赤松梨江子 (敬称略)

2. 会次第

1. 開会
2. 校長挨拶
3. 日程説明
4. 普通科「総合的な探究の時間」研究発表会参観
5. 地域連携活動紹介 (各校)
6. 意見交換
7. その他・閉会

3. 主な議事内容および委員意見

■ 普通科「総合的な探究の時間」研究発表会の参観

普通科 2 年生によるポスターセッション (全 27 グループ) を参観しました。これに対し、各委員から以下の意見が出されました。

- 活動の評価:
 - 地域に根差した前向きな提案が多く、多様で意義深い。
 - まとめ方や発信力、ポスターセッションという形式そのものが高く評価された。
 - 失敗を改善につなげた点や、問いを立てる力の向上が見られた。
- 今後の課題・提言:
 - 継続性: 2 年生で終了するのは惜しく、3 年生での継続やアーカイブ化、論文形式でのまとめ直しを検討すべき。
 - 大人の関わり: 地域課題は生徒だけに任せず、大人が積極的に伴走・支援する必要がある。
 - 表現と AI: AI 時代の今、「AI＝正しさ」の点で生徒の発信力は向上したが、発表時にタブレットに頼りすぎず、人間らしい「相応しさ」を追求してほしい。

■ 地域連携活動および今後の教育活動について

各校（本校・辻校・三好校）の取組について報告があり、意見交換が行われました。

- **三校連携:** 提案されていた「日本茜」の取組が実際に展開されていることが歓迎された。来年度以降の商品化への期待も寄せられた。
- **国際交流:** 姉妹校（君毅高校）との関係を軸に、三好市や中学生も巻き込んだ関係深化の可能性を探る。
- **広報・発信:** 池田高校グループとしての魅力を伝えるため、漫画制作の活用やホームページへの掲載など、伝え方の工夫を求める声が上がった。
- **小中高の繋がり:** 「探究」をキーワードとして、小中高の連携をさらに発展させていく方針が確認された。

4. まとめ

伊丹会長より、今回の協議会での提案を他の教員や生徒に共有することが活動の継続性につながるとの総括があり、閉会しました。